

# 一般質問 (2~5面上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は19人34件の一般質問がありました。(他はその他の質問)

## 文化・スポーツ施設整備 市の考えは

### 将来に向け 計画的な保全と多角的な視点を取り入れた整備を進める

清水勝 議員(市友) 文化・スポーツ施設の老朽化は公共施設整備の大きな課題の一つである。



▲さらなるスポーツ振興を指す

備について市の考えは。市長 将来に向け、公共施設マネジメントの方針に基づき、質の確保を目指す計画的な保全と、施設の規模や機能の整理、複合化、民間活力の導入など、多角的な視点を取り入れた整備を進める。議員 ラグビートップリーグに代わる新リーグ発足に向けた市の考えは。オリンピック・パラリンピック等推進担当 令和3年4月に、本市を活動拠点とするラグビートップリーグ2チーム及び府中市・調布市・三鷹市の3市の5者で連携協定を結んでいる。

今後は、この5者でラグビーを通じたスポーツ振興をはじめとする多様な分野でのまちづくりの推進、各種広報活動やファン層拡大に向けた取組、ホストスタジアムにおけるホストゲームの開催支援などを行っていく。

## ふるさと納税ポータルサイトの拡充 今後の市の取組は

### 様々な視点で全国から 選ばれる自治体となるよう 受付窓口の拡大に努める

渡辺 将 議員(都民) ふるさと納税における令和2年度の実績を聞きたい。

市長 2年度においては、新たな市内事業者による返礼品やサービスの追加、ポータルサイトの拡充などを行った。これにより、寄附額が約3億9290万円と元年度を大きく上回ったほか、返礼品を通

じ、本市の魅力を広くPRできたと捉えている。議員 2年12月にポータルサイトを追加し、現在2つのサイトでふるさと納税を受付している。ポータルサイトの拡充に関する今後の市の取組は、

政策総務部長 ポータルサイトの追加により、寄附件数が増加したことから、引き続き

## パートナーシップ宣誓制度 自治体間相互利用について 市の見解は

### 対象要件の整理など 連携について調整を行っていく

稲津 憲護 議員(市友) 異性愛者か同性愛者かの違いで差別されることのない社会の実現を、本市からも発信していることが強く望まれていると

市独自の制度を創設している。議員 現段階での検討状況は、政策総務部長 都内の同制度

## 実施の必要性を含めたい 検討していききたい

結城 亮 議員(市民) 国は、不妊治療費の保険適用に向けて積極的に取り組んでいると聞かれますが、特定不妊治療への助成制度について、市の認識は、

子ども家庭部長 国は令和4年4月からの保険適用実施まで、特定不妊治療費助成制度を拡充する措置を講じており、サイトの拡充について検討を進めていく。また、返礼品として、サービスの提供を多く取り扱うなど、特色のあるサイトの導入についても比較検討を行い、様々な視点で全国から選ばれる自治体となるよう受付窓口の拡大に努める。他オリンピック・パラリンピック

考える。そのような中、本市でも実施しているパートナーシップ宣誓制度を、自治体間で相互利用することについて、市の見解は。市長 令和3年4月1日時点において、全国で103の自治体がこの宣誓制度を導入しており、自治体間相互利用の動きも全国的に見られると認識している。課題としては、自治体ごとに規定が異なるため、対象要件や提出書類を均一化するなどの調整等を要することが挙げられる。議員 現段階での検討状況は、政策総務部長 都内の同制度

## 学校でのタブレット端末利用 教員へのフォローアップの状況は

### 継続的かつ効果的な支援を実施していく

増山 あすか 議員(市政) 児童・生徒の一人1台の使用に向け、令和2年度、市立小・中学校各校にタブレット端末

が配付されたと聞く。そこで、タブレット端末の家庭学習での活用状況及び紙の教科書等との兼ね合いに関する市の考えを聞きたい。教育部長 家庭学習での活用については、3年度の3学期開始までに自宅で活用できるよう準備を進めている。紙の教科書等との兼ね合いについては、当面タブレット端末と併用して効果的な学習指導を行う必要があると考えている。議員 学校ごと又はクラスごとに、タブレット端末の利用状況に差があるとの声を聞くが、教



▲タブレットを活用した授業の様子

## 空き家対策 条例制定する予定は

### 現時点では、条例制定の検討は行っていない

そなえ 邦彦 議員(自由) 空き家は、高齢化や人口減少により今後も増え続けると思う

が、現状、近隣から苦情等を受けた際の市の対応は。生活環境部長 市が現場を確認の上、空き家の所有者に連絡し、所有者の責任において対応してもらっている。なお、管理不全の空き家への対応として、市とシルバー人材センターの間

で空家等の適正な管理の推進に関する協定を締結しており、所有者等からの相談に応じて、シルバー人材センターが樹木の伐採や剪定等の業務を請け負っている。議員 空き家対策について、行政が必要な措置を講じることのできる条例を制定した自治体もあると聞くが、条例制定する予定はあるのか。生活環境部長 空き家の所有者等が自主的に適切な管理を行うよう指導していることや、消防署などとの連携により対策を講じていることから、現時点では、条例制定の検討は行っていない。他市の子ども貧困対策について



▲シルバー人材センターによる剪定作業(イメージ)

※( )内は、会派名を略して掲載しました。 市政…府中市議会市政会 市友…府中市議会市民フォーラム 公明…公明府中 共産…日本共産党府中市議団 ネット…生活者ネットワーク 自由…自由クラブ 都民…府中市議会都民ファーストの会 市民…市民の風

※一般質問のタイトルには質問方式(一括質問または一問一答)を記載しております。